

## ＜別紙：クレジットシステムの対象となる活動の証明書 記載事項例一覧＞

下表により、各活動における証明書の記載事項例について示します。

証明書には、①から⑥の事項が記載されていることが望ましく、記載事項に不足等ある場合、審査において証明書の可否を判断致します。

NDT 技術指導員の場合、証明書とは別に、訓練内容が判断できる書類（教育訓練の開催案内、訓練計画書、受講者が訓練を受けた記録及び講師が訓練を行った記録、受講（予定）者一覧、スケジュール及びカリキュラム等）の添付が必要となります。

| 分類      | 項目  | 活動  | 単位    | ①主催団体名  | ②責任者名                  | ③分類内訳名<br>(NDT 関連の活動であることが分かること) | ④活動の名称        | ⑤活動の期間  | ⑥本人の氏名 |
|---------|-----|---|-------|---------|------------------------|----------------------------------|---------------|---------|--------|
| 会議・委員会等 | 1   | NDT 協会の会員   | 1 年   | NDT 協会名 | NDT 協会の押印              | ——                               | 会員種別等の名称      | 会員登録期間  | 会員の名前  |
|         | 1   | NDT 及びそれに関連する科学及び技術を対象としたセミナー、シンポジウム、会議及び／又はコースに出席    | 1 会議  | 主催団体名   | 会議等の責任者名・押印（主催団体印可）    | セミナー、シンポジウム、会議及び／又はコース名          | 出席した委員会等の名称   | 出席した年月日 | 出席者の名前 |
|         | 2.1 | 国際及び国内の標準化委員会への出席                                     | 1 委員会 | 主催団体名   | 標準化委員会の責任者名・押印（主催団体印可） | 国際及び国内の標準化委員会名                   | 出席した標準化委員会の名称 | 出席した年月日 | 出席者の名前 |
|         | 2.2 | 標準化委員会の主催（委員長等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます）                 | 1 委員会 | 主催団体名   | 標準化委員会の責任者名・押印（主催団体印可） | 標準化委員会名                          | 主催した標準化委員会の名称 | 主催した年月日 | 主催者の名前 |
|         | 3.1 | 上記2.1 以外の NDT 委員会への出席                                 | 1 委員会 | 主催団体名   | 委員会の責任者名・押印（主催団体印可）    | 委員会名                             | 出席した委員会の名称    | 出席した年月日 | 出席者の名前 |
|         | 3.2 | 上記2.1 以外の NDT 委員会の主催（委員長等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます）      | 1 委員会 | 主催団体名   | 委員会の責任者名・押印（主催団体印可）    | 委員会名                             | 主催した委員会の名称    | 主催した年月日 | 主催者の名前 |
|         | 4.1 | NDT 関連のワーキンググループ会合への出席                                | 1WG   | 主催団体名   | WG の責任者名・押印（主催団体印可）    | WG 名                             | 出席した WG の名称   | 出席した年月日 | 出席者の名前 |
|         | 4.2 | NDT 関連のワーキンググループ会合の主催（WG リーダー等）（主催と出席の両方のポイントが与えられます） | 1WG   | 主催団体名   | WG 会の責任者名・押印（主催団体印可）   | WG 名                             | 主催した WG の名称   | 主催した年月日 | 主催者の名前 |

| 分類      | 項目  | 活動  | 単位                            | ①主催団体名              | ②責任者名                                       | ③分類内訳名<br>(NDT 関連の活動であることが分かること) | ④活動の名称              | ⑤活動の期間               | ⑥本人の氏名        |
|---------|-----|---|-------------------------------|---------------------|---|----------------------------------|---------------------|----------------------|---------------|
| 研究活動等   | 5.1 | NDT 関連の技術的若しくは科学的貢献又は出版 (NDT 研究成果の報告) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする) | 1 報告                          | 発行団体名               | 報告物の発行責任者名・押印 (発行団体印可)                      | 報告名                              | 執筆した報告等の名称          | 発行年月日                | 執筆者の名前        |
|         | 5.2 | 発行された NDT 関連研究業務 (5.1 を除く NDT 関連出版物) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする)  | 出版物<br>1 執筆                   | 発行団体名               | 出版物の発行責任者名・押印 (発行団体印可)                      | 出版物名                             | 執筆した出版物の表題等の名称      | 発行年月日                | 執筆者の名前        |
|         | 5.3 | NDT 研究活動 (研究活動そのもの) (複数の場合、主となる者が他の者に与えられるポイントを明示する。分割の端数は 0.1 刻みにする)                   | 1 研究活動及び<br>1 プロジェクト          | 研究活動及びプロジェクトを行った団体名 | 研究活動及びプロジェクトの責任者名・押印 (研究活動及びプロジェクトを行った団体印可) | 研究活動及びプロジェクト名                    | 実施した研究活動及びプロジェクトの名称 | 実施年月日                | 実施者の名前        |
| 指導員・試験員 | 6*  | NDT 技術指導員 (2 時間当たり) 及び／又は NDT 試験員 (試験 1 回当たり)   | 指導員 :<br>2 時間<br>試験員 :<br>1 日 | 主催団体名               | NDT 技術講習会及び／又は試験の実施責任者名・押印 (主催団体印可)         | 技術講習会名及び／又は NDT 試験名              | 担当した講義及び／又は試験科目等の名称 | 担当した講義年月日と時間及び／又は試験日 | 講師及び／又は試験員の名前 |

| 分類                   | 項目  | 活動  | 単位                   | ①主催団体名 | ②責任者名                  | ③分類内訳名<br>(NDT 関連の活動であることが分かること) | ④活動の名称       | ⑤活動の期間  | ⑥本人の氏名   |
|----------------------|-----|---|----------------------|--------|------------------------|----------------------------------|--------------|---------|----------|
| 専門的な活動<br>(NDT 業務全般) | 7.1 | NDT 設備、NDT 訓練センター若しくは NDT 試験設備における活動又は NDT エンジニアリングのための活動(附属書 E 参照) (各通年) | 1 年<br>(資格証明書ごとに)    | _____  | 活動の責任者名・押印<br>(主催団体印可) | _____                            | 活動した内容(要旨)   | 活動期間    | 活動者の名前   |
|                      | 7.2 | 顧客に関連した苦情処理   | 1 苦情処理<br>(資格証明書ごとに) | _____  | 活動の責任者名・押印<br>(主催団体印可) | _____                            | 苦情処理した内容(要旨) | 苦情処理年月日 | 苦情処理者の名前 |
|                      | 7.3 | NDT の適用に関する開発<br>(NDT に関する特許の出願)  | 1 特許<br>(資格証明書ごとに)   | _____  | 活動の責任者名・押印<br>(主催団体印可) | _____                            | 特許の内容(要旨)    | 特許取得年月日 | 特許取得の名前  |

- \* 証明書は、コピーでも構わない(クレジットシステム ポイント集計表において、提出された証明書類すべてを雇用責任者が証明するため)。
- \* 「②責任者名」は、原則その活動の責任者としているが、「①主催団体名」の責任者又は責任を委譲されている者(例えば、主催団体事務局等)でも良い。
- \* 「③分類内訳名」は、NDT 関連の活動であることが分かること。はっきりしないものは、NDT 関連活動であることを示す必要がある。NDT 関連活動であることを示さない場合、NDT 関連活動とは認めない。
- \* 「④活動の名称」は、「③分類内訳名」における活動内容とする。
- \* 「⑥本人の氏名」は、クレジットシステム対象者であることが分かること。本人であることが、はっきりしないものは認めない。

以上